



落葉散り 自分は少し 変わったか

でもその先は 努力あるのみ (6年児童の短歌)

若葉は青葉となり、紅葉となってやがて落葉します。葉っぱがその生涯を閉じた後は、土の肥やしとなって次の葉の糧となります。この積み重ねで幹は太くなり、枝が広がります。

人も同じ。葉っぱが散るように落とした汗は、人としての幹を太くし、人としての幅が広がるのです。深い短歌です。

10月は運動会や宿泊体験学習等を通して尊い汗を土に落としました。

11月は文化の月でした。汗を心に落としました。11月の日野小の文化を振り返ります。



ガイドさんが開始5分で涙ぐんでいました。6年生の修学旅行出発式のできごとです。修学旅行への意気込みをはきはきと語る6年生。凛とした態度が朝の空気を引き締めます。運動場や校舎から笑顔で送る在校生。先輩の喜びを自分の喜びにしています。

「こんな学校、初めてです。」とも言ってくださいまし

た。ガイドさんの期待を裏切ることなく修学旅行は進みます。

「やっとこの日が来たと思った。いろいろな人のおかげでできたことの感謝を忘れない。

(略) 祈念像は想像以上に大きかった。クラス別研修ではハートの石がありさわった。願いが叶ってほしい。グラバー園は花がとてもきれいだった。出島のカピタン部屋は豪華だった…。(略)」(6年生の感想より。この後、思い出が尽きることなく綴られています。)

一日目のホテルでは、お土産探し。「校長先生っておじいちゃん世代ですよ。びわ茶ももらったら嬉しいですか?」「このお菓子甘すぎないですか? お母さんは甘すぎるのは嫌いだから…。」思案のしどころ。みんなに共通しているのは、自分の分は後回しにしているところです。中には、毎日安全の見守りをしてくれるおじさんたちにお土産を買っている子もいました。お土産ばかりでなく、学びもたくさん。

「私は、この修学旅行でたくさんの長崎のすてきな所を見つけました。

例えば、ガイドさんの『原子爆弾投下から一週間後には花が咲き、一か月後にはありの行列見られた』という言葉から当時の人々は振興のために全力を尽くしたことが分かり、誇りに思いました。このすてきなところを持続させたいです。クラス別研修で行った出島やグラバー園、また島原城からは歴史がとても感じられました。復元してまで建物を残していると



いうことは、その時の様子を後世に伝えたいからだと思います。今後は、この長崎のすてきを引き継いでいきたいです。そして、多くの人に発信して長崎を好きになってほしいです。」

正にふるさと教育。この感想こそ後世に引き継ぎたい内容です。すてきな二日間でした。

思い返す 修学旅行 学習し 疲れた後の フカフカ布団（6年児童の短歌）



3年生のすてき

修学旅行の翌日、佐世保市の音楽発表会がありました。

日野小学校からは、3年生が出演しました。

大人数なので二組に分かれて、別々の曲を発表しました。一組目は「レッツゴーいいことあるさ」、二組目は「手をつなごう」。

すてきな発表でした。

元気と優しさを声と体で発信しました。私は、元気を奮い起こしたい時、この発表のビデオを見ています。



12月の主な行事予定

1日（木） 全校5時間授業（～7日）
全校朝会
パールシー見学（3年）
2日（金） 昔遊び体験（1年）
4日（日） 人権週間（～10日）
6日（火） 薬物乱用防止講演会（6年）
7日（水） 人権集会

10日（土） 世界人権デー
21日（水） クラブ活動・クラブ見学
22日（木） 冬至
23日（金） 2学期終業式
24日（土）～1月9日（月）
冬休み

○新型コロナウイルスの感染レベルが、「1」から「2-1」に上がりました。これに伴いまして、本人はもちろん、同居家族に風邪症状があった場合はお子様の登校を控えていただくようお願いいたします。（病院を受診し、登校の許可があった場合はこの限りではありません。）
寒くなり、インフルエンザの感染も心配されます。これまで同様、手洗い、うがい、換気など御家族ぐるみでの感染対策をお願いいたします。